

令和元年度 全国学力・学習状況調査分析結果

○篠原西小学校 学習状況調査結果

	よい状況と考えられる内容	指導・改善が必要と考えられる内容
国語	<p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中に正しく使う。 	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。
算数	<p>【数量や図形についての技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。 ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。 	<p>【数量や図形についての知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形について理解している。 <p>【数学的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基にし、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

〈調査結果（課題）を踏まえての今後の取組〉

- 2教科それぞれの項目を「全国（公立）」「神奈川県（公立）」の正答率と比較した結果、多くの項目で上回っていることが分かった。引き続き、基礎的・基本的な内容の定着を図っていく。
- 国語では、記述式の問題での平均正答率が、全国・神奈川県の正答率よりも下回っていた。算数では、記述式の問題での無回答率が高かった。自分の意見を持ち、それを表現することが苦手な児童も多いので、普段の授業の中で、自分でじっくり考える時間を確保し、それを書いたり発表したりする機会を設けるようにする。